中期	小６ １学期	いろいろあるよ	※学級活動など

１　目　標

○　ボランティアの意味を理解し、学校でできる小さなボランティア（「ミニボラ」）に気付く。また、地域社会の行事や活動の中で小学生ができるボランティアがあることを知り、その活動への参加意欲を高める。

２　指導のポイント

○　この授業では、自発性・非営利性を含む活動を「ボランティア」と定義し、友達の困っていることを助けるといった活動もボランティアとして考えていく。

○　学校でもできる身の回りのちょっとしたボランティア（ミニボラ）によって、児童のボランティア精神を高めることが、地域ボランティアへの興味や参加意欲を向上させる第一歩と考え展開する。

○　事前指導での情報収集の方法は、保護者に聞いたり、地域の掲示板・広報誌で調べる以外にも、各地域のボランティア情報を統括している「ボランティアセンター」なども活用したりする。

３　準備するもの

・「いろいろあるよ」プリント①～③　・感想文（例）

４　事前・事後の活動計画

事　前	本　時	事　後
ボランティアについて調べる活動を取り入れる。	「いろいろあるよ」	地域のボランティアも、自分ができることから始められるように、日常生活の中で振り返っていく。

５　本時の展開

	学　習　活　動	指 導 上 の 留 意 点
導入（つかむ）	１　ボランティアについて調べたことを交流する。 ２　めあての確認をする。 どんなボランティアがあるか考えよう。	○　ボランティアにはいろいろな活動があることに気付かせる。
展開（さぐる・見つける）	３　地域のボランティア活動に参加した感想を共有し、参加意欲を高める。 ４　さまざまなボランティアについて話し合い、ボランティアの意味を理解する。 ５　学校での「ミニボラ」を考え、実践の意欲を高める。	○　地域のボランティア活動に参加したことを話し合わせ、ボランティア活動に参加しようとする意欲を向上させる。 ○　「ボランティア」とは一体何かを話し合わせ、“お金をもらわないで、自分から人の役に立つ活動をすること”を理解させる。 ○　「ミニボラ週間」を設定し、意識的に活動させる。
まとめ（決める）	６　学習の振り返りをする。 ・　「いろいろあるよ」プリントに授業の感想を書き、発表する。	○　日常生活において、地域のボランティアも、できることから始めることができるように、日頃から取り組んでいくことを意識させる。

参考文献　社会性と情動の学習（ＳＥＬ－８Ｓ）の進め方　小学校編　小泉令三／山田洋平（ミネルヴァ書房）（ユニットＡ１）

中期	小６ ２学期	ぜったいダメ！	※学級活動など

１　目　標

○　シンナーや違法薬物の種類や心身への害を知り、自分からシンナーや違法薬物を試すことをしないという決意をさせる。また、他の人などから誘われた時、「危険な状況での断り方のポイント」を押さえて断ることができるようにする。

２　指導のポイント

○　授業の最後にロールプレイを行い、違法薬物への誘いに対する断り方を練習するが、誘い役は担任が行うか、養護教諭等の協力を得るなど、児童にはさせない。

○　養護教諭と話し合い資料や写真を補うなどの工夫をし、体育科の保健領域の学習と関連付けることができるようにする。

○　警察や、薬物乱用防止に関する講座や教室を活用するとともに、専門機関と連携することで、わかりやすい最新の情報を提供することができるようにする。

３　準備するもの

・「ぜったいダメ！」プリント　・表「違法薬物の害」　・図①、②　・危険な状況での断り方のポイント

４　事前・事後の活動計画

事　前	本　時	事　後
日頃から、ルールやマナーを守る重要性を考えさせる。	「ぜったいダメ！」	「危険な状況での断り方のポイント」を教室に掲示し、誘われても断ることができるように日常生活で振り返っていく。

５　本時の展開

	学　習　活　動	指 導 上 の 留 意 点
導入（つかむ）	１　違法薬物について知る。 ２　めあての確認をする。 **違法薬物への誘いを断るための方法を考えよう。**	○　新聞記事などを用いて、違法薬物を想像させることで、危険なものであることに気付かせる。
展開（さぐる・見つける）	３　シンナーや麻薬など違法薬物の種類と心身への害について理解する。 ４　違法薬物の誘いに対する「危険な状況での断り方のポイント」を学習する。また、さらなる誘いに対する断り方を考える。 **＊危険な状況での断り方のポイント「“ハリ”の”ワニ“」** **①はっきり断る，②理由（りゆう）を伝える，③話題（わだい）を変える，** **④最後は逃（に）げる** ５　ロールプレイを行い、断り方を身に付ける。	○　違法薬物を使用すると、心や体に大きな害を与えることを理解させる。また、使用し続けていると、使う量も増え、犯罪に手を染めることもあることを理解させる。 ○　「危険な状況での断り方のポイント」をまとめさせ、誘いに対する断り方を理解させる。 ○　自分の言葉を使って断るように練習させる。
まとめ（決める）	６　学習の振り返りをする。 ・　「ぜったいダメ！」プリントに授業の感想を書き、発表する。	○　日常生活において、違法薬物への誘いを断ることができるように日頃から取り組んでいくことを意識させる。

参考文献　社会性と情動の学習（ＳＥＬ－８Ｓ）の進め方　小学校編　小泉令三／山田洋平（ミネルヴァ書房）（ユニットＦ８）

中期	小６ ２学期	トラブルの解決	※学級活動など

１　目　標

○　トラブルが生じたときには、解決することが重要であることが理解できるようにする。また、「トラブルの解決のポイント」を知り、トラブルに上手に対処しようとする意欲を高めることができるようにする。

２　指導のポイント

○　日常生活におけるトラブルが起きないように避けるのではなく、トラブルが起きても自分で解決しようとする意欲を高めることができるようにする。

○　「トラブル解決のポイント」の「最もよい方法を決定し実行する」では、自分と相手の気持ちを考えた方法を選択し決定することが重要であるということを理解させる。

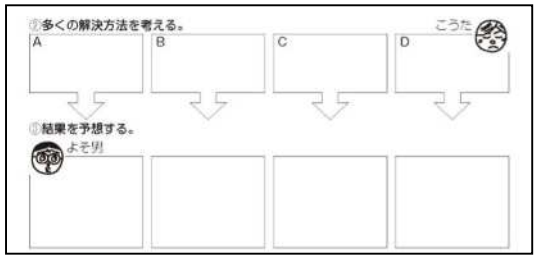
３　準備するもの

・「トラブルの解決」プリント①、②　・トラブル解決のポイント

４　事前・事後の活動計画

事　前	本　時	事　後
日常生活で起こるトラブルについて考えさせる。	「トラブルの解決」	「トラブル解決のポイント」を教室に掲示し、日常生活においても自分でトラブルを解決していくよう声かけをしていく。

５　本時の展開

	学　習　活　動	指 導 上 の 留 意 点
導入（つかむ）	１　休み時間に友だちとけんかになったときのことを考える。 ２　めあての確認をする。	○　「トラブルの解決」プリント①を使って、どのようなトラブルがあり、どう解決していくのかという本時のめあての方向性をつかむようにする。
	「トラブル解決のポイント」を考えよう。	
展開（さぐる・見つける）	３　これまでのトラブルの対処方法を振り返り、自分でトラブルを解決することの重要性に気付く。 ４　「トラブル解決のポイント」を知る。	○　トラブルは自分で解決できることを理解させる。 ○　トラブルを解決するポイントの流れがわかるように板書を工夫する。
	＊トラブルの解決のポイント **①目標を明らかにする、②多くの解決方法を考える、③結果を予想する、④最もよい方法を決定し実行する**	
	５　設定したトラブル場面を「トラブル解決のポイント」を使って解決する。 （１）「トラブル解決のポイント」を使って練習をする。 （２）目標が達成できるような解決方法を考える。 （３）一番よい方法をグループで話し合い、全体で話し合う。	 ○　解決方法について話し合うことで、解決の方法は１つではないということに気付かせる。
まとめ（決める）	６　学習の振り返りをする。 ・「トラブルの解決」プリントに授業の感想を書き、発表する。	○　日常生活において、トラブルを自分で解決できるように、日頃から意識して取り組んでいくことを伝える。

参考文献　社会性と情動の学習（ＳＥＬ－８Ｓ）の進め方　小学校編　小泉令三／山田洋平（ミネルヴァ書房）（ユニットＤ５）

中期	小６ １学期	わたしはイヤ！	※学級活動など

１　目　標

○　未成年者が喫煙した場合の心身への悪い影響を知り、自分から興味本位で喫煙しないという決意ができるようにする。また、他人から喫煙を誘われたとき、「危険な状況での断り方のポイント」を押さえて断ることができるようにする。

２　指導のポイント

○　養護教諭と話し合い授業を工夫し、体育科の保健領域の学習と関連付ける。

○　タバコの害について、「生活習慣病」といった将来への影響に言及するよりも、喫煙の急性生体影響（心臓がドキドキする、肌が荒れる）、発育への影響（運動能力の低下、身体発育の遅れ）について強調することができるようにする。

３　準備するもの

・「わたしはイヤ！」プリント　・表「タバコの害」　・図①～④

４　事前・事後の活動計画

事　前	本　時	事　後
日頃から、ルールやマナーを守る重要性を考えさせる。	「わたしはイヤ！」	「危険な状況での断り方のポイント」を教室に掲示し、誘われても断ることができるように日常生活で振り返っていく。

５　本時の展開

	学　習　活　動	指 導 上 の 留 意 点
導入（つかむ）	１　年齢制限クイズをして、タスポカードについて知る。	○　年齢制限があるものについてクイズを行い、なぜ年齢制限があるのか考え、本時のめあての方向性をつかむようにする。
	２　めあての確認をする。 **たばこの害について考えよう。**	
展開（さぐる・見つける）	３　一般的なタバコの害について理解する。	○　タバコを吸う人は、吸わない人に比べてがんになる確率が高く、また、心臓病などの病気になる確率も高いことを抑える。また、タバコが原因で死亡したと考えられる人は、年間１１．５万人といることを理解させる。
	４　未成年の喫煙の危険性について知る。	○　タバコを吸い始める時期が早いほど、体に悪影響を与える。また、死亡率が高くなり、身長が伸びなかったり、運動能力が落ちたりするなどの問題が生じることを理解させる。 ○　タバコは体に悪いことや依存性があることを理解させる。
	５　喫煙を開始する動機を知り、タバコを吸わない決意をする。	
	６　タバコの誘いを断るための「危険な状況での断り方のポイント」を考える。	○　断り方についてのポイントをまとめる。
	＊危険な状況での断り方のポイント「“ハリ”の“ワニ”」 **①はっきり断る，②理由（りゆう）を伝える，③話題（わだい）を変える，④最後は逃（に）げる**	
	７　ロールプレイをして、タバコの誘いに対する断り方を学習する。	○　誘い役は、児童にさせないようにし、他の教師やボランティアなどにお願いする。
まとめ（決める）	８　学習の振り返りをする。 ・　「わたしはイヤ！」プリントに授業の感想を書き、発表する。	○　日常生活において、興味本位や誘われても喫煙しないように日頃から意識して取り組んでいくことを伝える。

参考文献　社会性と情動の学習（ＳＥＬ－８Ｓ）の進め方　小学校編　小泉令三／山田洋平（ミネルヴァ書房）（ユニットＦ７）

中期	小６ ３学期	わたしはしない	※学級活動など

１　目　標

○　反社会的行動への誘いや身の安全が脅かされる場面で、はっきり断ることの重要性を知り、不当な要求への明確な断り方の言語・非言語スキル（はっきり断る、目を見る）を身に付けることができるようにする。

２　指導のポイント

○　万引きや暴走族などの反社会的行動への勧誘、恐喝といった自分の身の安全を脅かす場面での断り方を学習できるようにする。

○　「危険な状況での断り方のポイント」の学習では、どのようなポイントがあるかをグループで考えさせるとともに、児童からポイントがでてこない場合は、教師が付け加えるようにする。

３　準備するもの

・「わたしはしない」プリント①、②　・危険な状況での断り方のポイント　・あいさつのポイント

４　事前・事後の活動計画

事　前	本　時	事　後
今までに学習してきたことを想起し、身の回りには危険が潜んでいることを思い出させる。	「わたしはしない」	「危険な状況での断り方のポイント」を教室に掲示し、断り方を練習することで定着を図っていく。

５　本時の展開

	学　習　活　動	指 導 上 の 留 意 点
導入（つかむ）	１　友達から無理な誘いがあったとき、自分ならどうするか、意見交流をする。 ２　めあての確認をする。 **危険な誘いを受けたとき、どうするかを考えよう。**	○　失敗をしてしまった経験をもつ児童に配慮しながら、この段階では様々な考えを受け入れる。
展開（さぐる・見つける）	３　絶対に断らなければいけない状況を確認する。 ４　「危険な状況での断り方のポイント」と、断るときのしぐさ（「あいさつのポイント」）を考える。 （１）　どのように断ったらいいかをグループで話し合う。 （２）　断り方のポイントをまとめる。 **＊危険な状況での断り方のポイント「“ハリ”の“ワニ”」** **①はっきり断る、②理由（りゆう）を伝える、③話題（わだい）を変える、④最後は逃（に）げる** （３）　はっきり断るためには、「あいさつのポイント」を使えばよいことを理解する。 **＊あいさつのポイント「“おかめ”のあいさつ」** **①大（おお）きな声ではっきりと、②体（からだ）を起こして、③相手の目（め）を見て** （４）　２つのポイントを練習する。 ５　さらに、誘われた場合の断り方を考える。 ６　ロールプレイをして、危険な誘いを断るスキルを身に付ける。	○　犯罪や他人を傷つけること、自分の身の安全が脅かされることに誘われたときは、断ることを理解させる。 ○　断り方のポイントが出ない場合は、教師が付け加える。 ○　しつこいときや危険を感じたときは、逃げることをおさえる。 ○　誘い役は児童にやらせないようにする。
まとめ（決める）	７　学習の振り返りをする。 ・　「わたしはしない」プリントに授業の感想を書き、発表する。	○　日常生活において、はっきりと断ったり、逃げて大人の助けを求めたりすることを、意識付けする。

参考文献　社会性と情動の学習（ＳＥＬ－８Ｓ）の進め方　小学校編　小泉令三／山田洋平（ミネルヴァ書房）（ユニットＣ６）